

発行:「街かど談話室」まつばらんど 横浜市保土ヶ谷区宮田町1-8-1 川元ビル1階
発行責任者:古垣直久



10月歳時記

月詠子

この月に、日本中の八百万(やおよぼ)の神様が出雲の国(島根県)に集まり、縁結び、収穫、神酒づくりを話し合いました。そのため、諸国に神様がなくなってしまうことから十月は「神無月(かんなづき)」と呼ばれてきました。一方、神様をお迎えする出雲では、「神在月(かみありづき)」と呼ぶのだそうです。日本各地では、収穫を感謝する行事や習わしを受け継がれてきました。

十月十七日に伊勢神宮で行われる「神嘗祭(かんなめさひ)」が有名ですが、神様だけでなく庶民も村の鎮守様で祭りを楽しんできました。そこからは生まれたのが、神楽、田楽、能などの芸能文化です。

十月は、集く虫の音に聞き惚れながら、月を愛でるのに一番の季節です。陰の家徴である月は「お陰さま」に通じると考えられ、収穫祭の意味もこめてお月見をするよう(お月見)です。



お月見という中秋の名月の十五夜(今年は九月二十一日)と思っている人がほとんどですが、この風習は中国唐代の観月の宴が起源とされています。十三夜のお月見(今年は十月十八日)が庶民に広がったのは江戸時代ですが、こちらは日本独自の風習です。

「後の月(のちのつき)」とも呼ばれ、樋口一葉の『十三夜』は、満月になる前の月が物語の寂しさを一層引き立てています。

秋と言えば秋刀魚

サンマは庶民の味として、江戸時代から食われてきました。古典落語「目黒のさんま」にも登場し、お殿様と庶民の食生活のありさまが滑稽な筆の題材にもなっています。

今年も大型船の水揚げが8月20日から根室市の花咲港(11年連続で秋刀魚の水揚げ全国1位)・厚岸・大船渡で始まりました。数日間の水揚げは、不良であった昨年の8月同期よりは上回った模様(日刊水産経済新聞)ですが、まだ楽観は許さないようです。

今や高根の花になりつつある秋の味覚「サンマ」。

なぜ、サンマの水揚げが減っているのでしょうか...
答えは、地球温暖化による海水温の上昇や海流の変化が原因です(水産庁検討会報告)。つまり海にいたる秋刀魚の資源量そのものが減っているのです。



安くて美味しいサンマの大漁が望まれます。投稿 小川健太

欠けた月にこそ美しさを見出す日本人の美意識にあらためて胸を打たれます。

ロマン溢れる話の後ですが、今では月の土地が買えるついでに日本でも沢山のオーナーがいます。もちろん、国際的な「宇宙条約」や「月協定」がありますが、『そもそも月は誰のものか?』という命題を逆手にとった賢い人がいたわけですが、実際に住むのは難しいので、結局は、月はどこまでもロマンの領域なのかもしれません。

十月は二十四節気の【寒露(かんろう)】【霜降(そうこう)】に当たりますが、日本の四季の鮮やかさがひとときわがわたります。冬の準備に身が引き締まり、五穀の収穫に心が躍ります。そんな季節を迎え、せめて心を旅に発たせたいものです。

【頑張る! シニア同好会紹介】

横浜マジッククラブ

設立は2010年、20名ほどのマジッククラブです。平均年齢は66歳。毎月定例会を行い、互いに練習の成果を披露。

普段は地域のケアハウス、自治会、子供会などで腕前を披露していますが、最近では、コロナ禍でなかなか社会貢献できないのが残念です。



手品好き集まれ!

まつばらんど マジックショー

10月28日(木) 予約制

午後 1:30~2:30

参加費無料・先着5名様限定

出演:横浜マジッククラブの皆様

会場:まつばらんど



シリーズ

神社仏閣巡り(第2回)

橋樹神社(保土ヶ谷区天王町)

約830年前に京都の祇園社(現在の八坂神社)から牛頭天王を勧請された際に創建された神明造りの神社です。神社名も「牛頭天王社」、「天王宮」、「橋樹社」と移り変わり現在の社名に至っています。



御祭神は天照大神の御弟である、素戔嗚尊(スサノオノミコト)。疫病や祟りを鎮める魔除けの神として崇められている頭天王と同一神として祀られています。境内には末社として神明社(天照大神、稲荷大神及び猿田彦大神)が祀られています。その他、神田不動尊、庚申塔(横浜市内最古と伝えられる)が鎮座されており多彩です。



多くの神社で半年に一度行われる「茅の輪くぐり」の神事も、その昔、素戔嗚尊を助けた蘇民将来(ソミンシヨウライ)という村人に授けた疫病被い(にちなんでいそう)です。素戔嗚尊は疫病除けの神様で在られる反面、神話の「ヤマタノオロチ退治」の話から縁結びの神様としても知られています。コロナウイルスという疫病(魔)に脅かされている昨今、橋樹神社にお参りしてご加護を賜りたいと思います。

投稿 坪庭大輔

スタッフ紹介



初めましてベリリーです

花田秀昭(62歳)

初めまして!運営スタッフの花田(通称「ベリリー」)です。さて、この通称「ベリリー」の名前の由来です。

半年前、友人数名とオンライン飲み会をやっていた時、友人たちがお互いをニックネームで呼び合っているのですが、私だけは、そのまま「花田」と呼ばれていました。「花田にもニックネームがあるだろう」と、友人の皆が考えてくれました。「ベリリー」の由来は、会話の中で「私が約40年前に初めて行った海外がシンガポールで、その街中に咲いていたブルーベリリアが非常に印象的だった」と思い出話をしたら、「ブルーベリリアだ」「ベリリアだ」「じゃあベリリーだ!」となった次第です。私は思い出につながるハイカラなこの名前が大変に気に入っています。

今度、まつばらんどや商店街で見かけたら「ベリリー」と気軽に声をかけて下さい。

どこに相談していいかわからない? 専門家による暮らし全般無料相談

随時予約受付 ※初回無料

- ・弁護士相談[家庭内・借金・トラブル]
- ・司法書士相談[遺言書・登記]
- ・税理士相談[税金・申告・相続]
- ・総合コンサルタント[借地・相続・不動産]



予約受付: 045-459-6088

シニアおもしろあるある

ドキドキが止まらないのが18歳
動悸が止まらないのが81歳。
まだ何も知らないのが18歳
もう何も覚えてないのが81歳。
こころが脆いのが18歳
骨がもろいのが81歳。
道路を爆走するのが18歳
逆走するのが81歳。

投稿 いむけん



【投稿記事大募集】読者の皆様の投稿をお待ちしております。趣味や体験談、俳句などジャンルは問いません。ペットのお写真も大歓迎です!採用の場合はご連絡いたします。メールまたはFAXにて!直接お持ちいただいても構いません!! FAX:045-459-6088

街かど談話室

まつばらんど

本誌掲載セミナーやイベントのお問合せ、お申し込みは下記まで!

TEL 045-459-6088

または ma2baland@gmail.com

(受付時間:10:00~16:00)水曜定休

住所:保土ヶ谷区宮田町1-8-1

*開催するすべてのイベント等は、コロナ感染症対策を講じておこなっております。

宛先:編集部 森



発行:「街かど談話室」まつばらんど 横浜市保土ヶ谷区宮田町1-8-1 川元ビル1階
発行責任者:古垣直久

今月のペット



モウリさんちの福くと妻ちゃん

- 年齢 : 6歳の兄妹
- 出身地 : 藤沢
- 特技 : ハイタッチ/ボール遊び (ボールをくわえて催促!)
- 性格 : 犬みたいに人懐っこい/家族以外にはシャイ
- 主人の一言 : イタズラもしますが、毎日癒されています。

デイサービス **にじいろ** 21世紀の介護 検索

南浅間町施設
TEL:045.534.3905

御菓子司 **うさぎや**

保土ヶ谷区宮田町1-8-1
TEL: 045-341-7223

シリーズ 相続を学ぶ

NPO 相続アドバイザー協議会会員
古垣 直久

「相続」と一言で言っても、その言葉から連想するイメージは人により様々です。不動産や預貯金といった財産のこと、準備しておかなければならない手続きのこと、家族のこと、お墓のこと、健康のことなど不安や心配は尽きません。

しかし、実際に相続が発生するまで、こういったことを家族や、ほかの人と話したことがないという方が意外と多いことに驚かされます。「縁起でもない」「知られたくない」と触れないようにしてしまいがちなかも知れません。

私は実際、相続アドバイザーとしてこれまで多くの方とお会いしてきましたが、「相続について真剣に考えたことも、誰かと話したこともない」という方が多くおられました。

これは少子化や核家族化で親子関係が希薄になってきたこと、超高齢化で長生きした分、友達などの話し相手がないなど、身近な人がなくなっているという現象も原因として考えられます。

「身近な人を亡くす」或いは自身の「死」という現実、誰にでも訪れる人生の節目であることを考えると、相続問題は、すべての人に起こりえる身近な問題であり、避けて通れない問題なのです。

「相続は、死亡によって開始する」(民法882条) 相続という、税金だとか民法だとかを思い起こす人がいますが、実際の相続は、法律だけではありません。家族関係、しがらみなどがキーポイントになってきます。現実には



「人情・法律・税務」の絡み合いといわれます。今後このシリーズでは民法の定める基本的な相続の規定、遺言、具体的な届出や手続き、遺産の評価の仕方、更には最も重要な「話し合いをどの様にうまく纏めていくか」という遺産分割の協議の仕方」など、実践的な知恵と知識を順次お伝えしていきます。

2019年撮影

セミナー 相続を学ぶ

「相続は人情・法律・税務との絡み合い」

10月22日(金) 予約制 (無料)
午後 1:00~2:30 先着 5名様

内容

- ✓ 相続人の範囲? (法定相続人)
- ✓ 相続する割合は? (法定相続分)
- ✓ 遺言書はなぜ作るのか?

10 / 31 はハロウィン



日本ですっかり秋のイベントとして定着したハロウィンですがハロウィンって何かご存じですか?

発祥は二千年以上も前、ヨーロッパの古代ケルト人が起源のお祭り、秋の収穫を祝い、悪霊払いをする宗教的な意味合いのある行事でした。

ケルトの暦では、十月三十一日が一年の終わりで、大みそかの日に死者の魂が家族の元へ戻り、さらに悪霊や魔女が街を訪れると信じられていました。悪霊に人間だと気付かれないように仮装をして、魔よけの焚火を焚いたりして悪霊を追い払う風習が、ハロウィンの代名詞でもある仮装の起源のようです。

現在は、十月三十一日のみがハロウィンとして定着していますが、正確な期間は十月三十一日から十一月二日、国によっては死者の魂を慰める行事が行われます。

メキシコではこの時期に、死者の日としてお祭りが開かれ、ガイコツを身近に飾る風習があったようです。

イタリアでも、多くの人が教会に行き、墓参りをし、スイーツの類をお供えし、まるで日本のお盆のようですね。

ちなみに、ハロウィンの定番シンボルのカボチャですが、もともとはカブが使われていました。アメリカではカボチャの生産が多かったのと、カボチャには悪霊を遠ざける意味があり、カボチャを怖い顔にくりぬきランタンとして使い、魔除けの役割を果たしたのだそうです。日本でいう鬼火の存在ですね。

投稿 森野 碧

まつばらんど

行事回顧録 (2)



4/15(木)日舞健康体操体験イベント

日舞師範で介護予防アドバイザーの藤間もゆかさんによる「誰でもできる健康体操(無料体験)」を開催しました。

日本舞踊の動きを取り入れた、「健康体操に参加された皆さんは、たくさん笑って健康貯金をされました。写真は、第一回目開催時の模様です。現在までに三回開催され、今後不定期ですが、開催予定です。

私の出会った映画「てんびんの詩」(前編)

上田 春生

商人のあるべき姿を近江商人の成長を通して描いた映画があります。昭和63年に上映された「てんびんの詩」という物語です。舞台は近江商人で有名な近江(現在の滋賀県)です。

商人の息子「大ちゃん」は小学校を出ると、父から大きな風呂敷に包まれた卒業祝いを渡されます。うれしく開けてみると、それは「鍋蓋」。鍋はなく蓋だけ。目が点になってしまふ「大ちゃん」に、父はこれを持って来いと言う。それができなければ、店は継がせない。「なんでやねん!こんなものが売れるはずがない。あんまりやないか!」

しかし、父は「気張ってや!」というのみ。

しかたなく鍋の蓋だけを売りに歩かされることになる「大ちゃん」。「大ちゃん」は、まだ小学校を卒業したばかりの近藤商店の跡取りです。

さあ、「大ちゃん」の商人になるための旅(修行)が始まります。

なんで自分がこんなことをさせられなければならないかと不満に思いながらも、とにかく売りに歩きます。最初に足を運ぶのは、父の店に入りする人々。押し売りのようになって売り歩く。

「なんでそんな恰好してるん?」と、人は笑います。

「格好なんて聞くな!とにかく買ってな!」と大ちゃん。

「うちでは、鍋蓋なんかありません」と奥さん。

「ほな、いつもお世話になってますって、あれ嘘かいな?」

「もうええ、わしの代になったら面倒みんからな!」捨て台詞を残して、「大ちゃん」はお客さんのところを後にします。



シニアでも 簡単! 大人気!

安岡 伸の スマホ入門講座

10/15 (金) 10:30~12:00 予約制

～ 講義内容 ～
アプリの使い方いろいろ
ダウンロード、アイコンの整理など

料金: 初めての方無料
リピーター-500円

先着 5名様限定!

受講者の声

参考になりました、また参加したいです!

スマホの基本的知識を教えてくださいました!!

脳を動かそう! 四文字熟語

喜□□楽 人間の持つ、喜び・怒り・悲しみ・楽しみの中の四つの感情

□行□行 困難に耐えて苦勞すること

□然自□ 何事にも動じず落ち着いた状態

(正解は来月号で)

【前回の答え】捲土重來・快刀乱麻

もちろん、その奥さんも「大ちゃん」が鍋蓋を売りに歩かされている事情を知っていますが、彼を教育しようとしているのです。

次に行くのも、また近藤商店が世話をしているところ。また、断られてしまいます。

「確かに、わては近藤商店にはお世話になってます。だけど、それとこれは別や!」そして、言われます。知り合いを当てにせず「自分の力で売りなさい。顔見知り頼るな!」ここでも、あそこでも、断られまくります。

そして「大ちゃん」は多くの人から教えられる。商品が自分の都合で売れるのではない、人のために売れ!

「商人は人に好かれたいといけない。」「商人にとつてはすべての人がお客さん。」「そのうち「大ちゃん」は気づきます。」「これまでは買ってもらう人の気持ちなんか考えていなかった」

(この続きは次回、後編のお話へと続きます。)